

令和6年度実装科学セミナー

第10回

演者： 山口県立総合医療センターへき地医療支援センター長／
山口県防府保健所長／山口県健康福祉部医療政策課

原田 昌範先生

演題： へき地医療に遠隔医療をどう組み合わせるのか

日時	2025年 3月27日(木) 16:00 ~ 17:00
開催方法	Web会議システム (Zoomミーティング)
参加申込	https://forms.office.com/r/MiE6r0Sne3
参加申込メ切	2025年 3月27日(木) 17:00 (セミナー終了まで)



講師プロフィール：

2000年自治医科大学を卒業し、山口県の離島へき地医療に従事。2011年から現職にて、へき地医療支援や総合診療の育成に取り組む。2019年、「へき地のオンライン診療」の研究班（厚労省科研費）の班長を担当。2021年山口県新型コロナウイルス感染症対策室、2022年山口県防府保健所長も担う。2024年度へき地医療貢献者表彰を受賞。

セミナー要旨：

厚労省の研究班の実証事業ののち、どうやって国内外のへき地にその成果を展開しようとしているのかを皆さんに紹介させていただきます。

主催：国立がん研究センターがん対策研究所 行動科学研究部

N-EQUITY (健康格差是正のための実装科学ナショナルセンターコンソーシアム*)

*国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部 (JH) 横断的事業推進費
「実装科学推進基盤構築支援事業」による活動

共催：RADISH (D&I科学研究会)

問い合わせ：国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部 実装科学研究室 小田原・齋藤
メールアドレス: impsci-sem@ml.res.ncc.go.jp